



校訓

強い心 強い体

玉造中学校だより No 10
令和5年2月6日 発行

在籍:男130: 女:136 計266名

1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」

3学期がスタートして早くも1か月が過ぎ、2月の声が届きました。3年生は、いよいよ県立高校の志望校が決まり、合格に向けて真剣さが増してきました。放課後の自主学習で頑張る姿も頼もしいです。また、1、2年生は、2月3日に行われた入学説明会で、部活動体験に参加した新入生に丁寧に関わる姿があり、先輩としての自覚の高まりを感じました。会場準備を短時間で協力しなら行ってくれた1年生の姿も頼もしかったです。

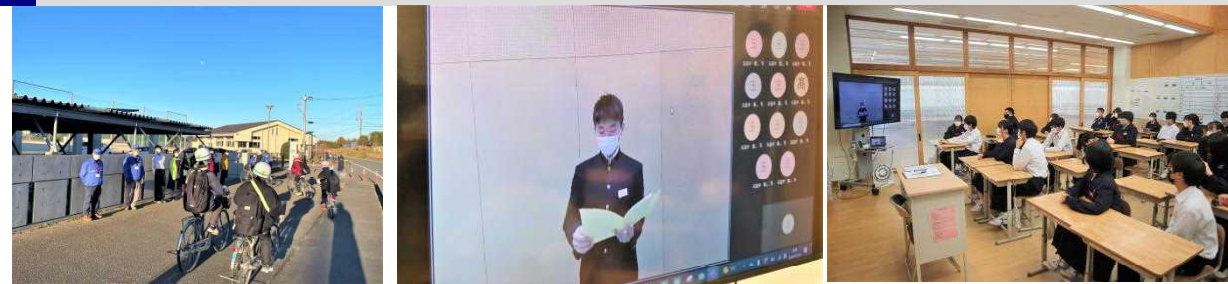
さて、新型コロナウイルス感染症に加えて、インフルエンザやノロウイルスなどの流行も心配な時期になりました。学校では、さらに「感染症予防対策」を徹底するために再点検して、取り組んでいます。今私たちにできることは、学校と家庭とが、油断せずに同一歩調で感染症予防対策を実践すること、栄養と休養をしっかりととりながら抵抗力を高めること、無理をしないことを習慣にするということだと考えます。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われるとおり、時間が過ぎるのを早く感じる時期ですが、1日は24時間、1時間は60分・・・でこれまでと変わらずに時を刻んでいます。これまでと変わらずに、子どもたちとしっかりと向き合い全力で支援していきます。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2月3日は節分、文字通りこの日は季節を分ける日、2月4日が「立春」なので暦の上では冬から春になったということです。ところで、2月3日の給食は節分のメニューだったのですが、驚いたことがあります。それは、「福豆」が「煎り大豆」ではなく、「きな粉ボーロ」だったということです。理由は確認していませんが、もしかすると煎り大豆を残す児童生徒が多いために食べやすくという工夫だったのか・・・とあれこれ想像してしまいました。そんなことを考えているうちに、「玉中生は豆まきをしたのか」という疑問がわいてきました。節分といえば、一般的には、「鬼は外、福は内」と声を出しながら福豆(煎り大豆)をまいて、年齢の数だけ(もしくは1つ多く)豆を食べる厄除けを行うのがこの節分の醍醐味ですが、果たしてどのくらいの生徒がやっているのか気になりました。ちなみに我が家では、他界した父がこの行事を大事にしていたこともあり、子どもたちが巣立った後も豆まきを大人だけでやっています。ちなみに、職員室で近くにいた先生方に聞いたところ、「子どもが小さいうちはやっていたが、大きくなったらやっていない」とのことでした。今年も豆まきをしましたが、近所で「鬼は外、福は内」の声は、我が家以外からは聞こえませんでした。

2月3日に令和5年度の入学説明会がありました。そこでこんな話をしました。中学校3年間は「自立」に向けて一歩を踏み出す準備期であると考えています。本校の教育目標の「自立貢献」はこの考え方がもとになっています。自立とは、「自分のことは自分でやる、自分たちのことは自分たちで解決する」・・・だから、勉強の仕方、「答えのわからない問題は、友だちと協力して意見を交わし、答えを見つける」ことが大切だということについても触れました。皆さんが今実践していることです。貢献とは、「人のため、地域のため、学校のために行動する」・・・また、「玉中生が大切にしていること」との例として、皆さんが取り組んでいる姿を3つ写真で紹介しました。①自転車をきちんと並べて止める。②靴のかかとをそろえて靴箱に入れる③体操着に着替えるときに制服をきれいにたたむ(右の写真にも載せました)。この写真を見ると心が整っているなど感じます。残念ながら、まだ全員の姿とはいえませんが、実践している人が多いことはとても心強く感じています。自分ができたら、周りにも声をかけて、やがては全員が自分のできるようにレベルアップしてほしいと思います。今年の入学説明会は、生徒会のメンバーが主体となって司会進行や説明を務めてくれました。これも、「自立貢献」の姿で、とても頼もしく感じました。

【写真で振り返る 1月の玉中】

1/10 生徒会と青少年相談員の皆さんとのあいさつ運動・オンラインでの始業式



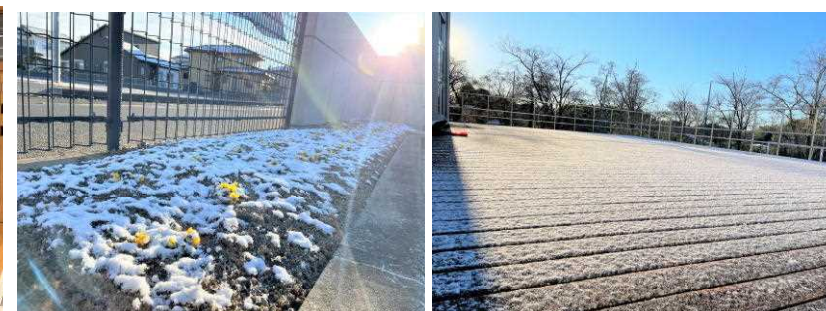
1/16 久しぶりの委員会活動がありました。ここにも、学校のために働く貢献の姿があります



1/18 学校ボランティア
家庭科でご協力いただきました



1/25 猛烈寒波到来
雪が降ったため登校が3時間遅れました。花壇やウッドデッキに雪が積もり、雪化粧となりました。



玉中生が大切にしていること紹介 ①自転車の止め方 ②靴の入れ方 ③脱いだ制服のたたみ方



